

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名 月経血流出障害を伴う女性生殖器形態異常の臨床的特徴や予後に関する検討：症例集積研究

研究の目的

女性生殖器形態異常は胎生期のミューラー管発生異常によって生じる疾患です。なかでも月経血流出障害を伴う場合には子宮内膜症の合併率が高く、患者さんは慢性的な腹痛や月経困難症により QOL 低下を生じることが多くあります。治療の基本は手術療法ですが、稀な疾患であるため国内外においてまとまった報告例は少なく、手術方法や術後管理法について確立したものはありません。

本研究では、当院で過去に月経血流出障害を伴う女性生殖器形態異常に対して手術を施行した症例を集積し、手術方法や子宮内膜症合併率、術後経過について検討することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日

対象となる方 2010 年 1 月 1 日 ~ 2023 年 12 月 31 日までの期間、附属病院産婦人科を受診し、月経血流出障害を伴う女性生殖器形態異常と診断され手術を施行された患者さん。

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録に記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) 年齢、既往歴、合併症
- 2) 受診契機
- 3) 症状
- 4) 診察所見や検査データ
- 5) 手術に関する情報
- 6) 術後経過

これらの情報を元に、本疾患における臨床的特徴や手術方法、子宮内膜症合併率、術後経過について検討します。

なお、利用に当たっては氏名・住所・電話番号・患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（これを匿名化といいます）。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また、本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん / その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	産婦人科・内田 苑佳 連絡先 0172-39-5107/ numa3783@hirosaki-u.ac.jp
-------	---